

# 「町田市立小中一貫ゆくのき学園」学校林の整備（R8、R9）

## 目的

児童の環境教育の推進を目的とした学校林の整備

## 整備計画

学校林のうち約0.45haを令和7年度から9年度にかけて整備  
このうち、令和8年度及び9年度の整備を実施

## 現状等

- ・これまで学校林を小学生の児童の教育の場として活用
- ・令和7年度は、ボランティア等による林内整備を実施
- ・総合の時間を利用し児童と植物観察や道づくりを実施

## 実施内容

- ① 児童が学校林を安全に活用できるよう林内を整理する。  
刈払、枯れ木伐採、歩道整備
- ② 環境を調べるため、植物等を調査する。
- ③ 児童参加型の歩道整備のほかベンチを設置する
- ④ 樹木がない箇所への植樹

**費用：100万円（R8、9の2か年の合計）**



児童との歩道整備



枯れ木と下草の繁茂

## 経緯

町田市立小中一貫ゆくのき学園学校林は、学校を見下ろす位置にある雑木林です。

以前は、斜面の土を使って土器づくりを行ったり、近隣の大学生と一緒に整備活動を行ったり、児童の活動の場として活用されてきました。

コロナ禍をきっかけに荒れてしまいましたが、令和6年度から鳥の巣箱を設置するなど授業での活用を再開し、令和7年度は森林整備ボランティア団体のご協力により、本事業にて枯損木伐採や歩道づくりを行いました。

令和8～9年度も引き続き枯損木伐採を行うほか、児童も参加して、歩道づくりや丸太ベンチ設置などを行います。

また、樹木のない場所への植樹や、かつて児童の遊び場だった未整備エリアの刈払いなども行います。

子どもたちが安全で楽しく活動できる場となるよう、ご協力をお願いいたします。



植樹予定エリア



枯損木伐採



灌木と草に覆われた斜面

## 令和7年度の主な活動

森林整備ボランティア団体により、枯損木の伐採や下草刈り等を行いました。

安全な伐倒の支障となるため伐採した樹木は、歩道づくりに有効活用しました。

大きな丸太は、令和8年度にベンチに加工します。



児童も参加して、歩道づくりを行いました。

鋸、鉋、鍬、手掛け矢を使い、楽しく活動しました。



植物観察を行いました。  
植物観察のポイントを  
学び、学校林内には  
多様な植物が生えている  
ことを知りました。

